

ビデオコーパスにおける「おつかれ系」表現の実証的研究

于 亮
YU Liang
中国大連理工大学ソフト
ウェア学院

劉 玉琴
LIU Yuqin
中国大連理工大学ソフト
ウェア学院

Gehrtz 三隅 友子
GEHRTZ-MISUMI Tomoko
徳島大学国際センター

要旨：「おつかれ系」のあいさつ表現は時代と共に変化し続けている。その使用実態を明らかにするために、ビデオコーパスを利用し、「おつかれ系」表現のビデオ断片 50、フレーズ 68 を収集し、具体的な場面を抽出し、分類かつ分析を行った。結果として、「オツカレサマデス」と「オツカレサマデシタ」の使用例が最も多いことが分かった。そして「オツカレサマデス」の男性使用例が女性使用例の 3 倍になっている。さらに「おつかれ系」表現の機能について「お別れのあいさつ」、「単純な慰労」、「仕事場での出会い」、「帰社した宣告と相手の帰社確認」、「何かを一段落にしたい合図」、「仕事連絡の電話の冒頭あいさつ」の六種類にまとめた。

キーワード：おつかれ系、あいさつ表現、ビデオコーパス、機能

1. はじめに

言葉は時代と共に変化しつつある。言葉の変容性や不明瞭性の中に言葉の意味変化の方向性を感じ取る醍醐味を味わうこともできる。

「おつかれ系」のあいさつ表現（以下「おつかれ系」と表記する）も例外なく変化し続けている。

代表的な「オツカレサマ」について、「大辞林」（第三版 2006）では、「[名・形動] 仕事などの疲れをねぎらうときに使う語。仕事を終えて帰る人に対する挨拶の言葉としても用いる。『お疲れさまです（でした）』は同輩や目上の人にも使える」という解釈がある。また、「デジタル大辞泉」では、「[名・形動] 相手の労苦をねぎらう意で用いる言葉。また、職場で、先に帰る人へのあいさつにも使う。同僚、目上の人に対して使う」と説明している。辞書から「おつかれ系」はこのように二つの機能を持っていることが分かった。すなわち相手への慰労と仕事を終えて帰る人に対する挨拶である。しかし、仕事を終えて帰る人がまだ会社に残っている人に発する「おつかれ系」も頻繁に耳にする。また、仕事場に来ただけでまだ仕事に取かかっていない人に対して使われている例も実際にある。このような定義されていない意味と機能の存在を無視するわけにはいけない。「おつかれ系」の使用実態を明らかにするために、本研究はビデオコーパスを利用し、「おつかれ系」のあ

いさつ表現を集め、具体的な場面を分類し、分析する。

本研究の構成は次のとおりである。まず、2 節では、「おつかれ系」に関連する先行研究を取り上げて検討し、本研究の位置づけと具体的な課題を説明する。3 節では、研究方法及び研究対象について説明する。4 節では、抽出したデータについて分析を行い、「おつかれ系」の表現形式と性別差および機能を考察する。そして最後の 5 節でまとめと今後の課題を述べる。

2. 先行研究と本研究の位置づけ

2.1. 「おつかれ系」に関する先行研究

「おつかれ系」を扱った研究は主に登田龍彦（2004）、塩原淳平（2006）、倉持益子（2008）がある。

登田龍彦（2004）では、学生の間で最近よく使用される、すなわちその日に最初に会った時に言う「お疲れ（さま）」の挨拶表現としての新用法を取り上げ、意味変化における相互主観化という文法化に係わる概念が、挨拶表現「お疲れ（さま）」の新用法の生起に関与していることを明らかにした。また、相互主観化の視点から共時的に見て、「お疲れ（様）」の用法を次の四つにまとめた。すなわち、①話者が聴者の「疲れている」様子を敬って表現する。②話者が帰宅する聴者に対するねぎらいの挨拶表現として使用する。③話者が通学・出勤してきた聴者に

対する（最初にかける）挨拶表現として使用する。④帰宅する話者が（まだ仕事をしている）聴者に対して別れ際に発する挨拶表現として使用する。

塩原淳平（2006）では、大阪の大学生に実施したアンケートを分析し、別れを告げる機能のみを持つ「おつかれ系」がスラングとして大学のサークルという集団へ浸透している。浸透の過程にかかわる要因を以下の四つにまとめた。①上下関係という待遇性の問題。②「おつかれ系」には丁寧語と普通語のどちらの形式も備わっているという、表現形式の問題。③あいさつ表現の「対称性」という言語行動の問題。④「さようなら」や「失礼します」という、先輩に対して用いられるあいさつ表現に対する「堅苦しさ（よそよそしさ）」という言語意識の問題。

倉持益子（2008）では、職場における「お疲れ」系使用例を、①本来の使い方である受信者への「ねぎらい」。②同僚にねぎらいをこめた別れのあいさつをする。③同僚に対して、自分が先に帰る時に別れを告げる意味で使う。（受信者はまだ工作中）。④職場ですれ違うときに会釈の代わりに声をかける。⑤職場で受信者に呼びかけ、用件を告げる。⑥電話での決まり文句として、仕事関係者に会話の冒頭で使用する。⑦職場での最初の挨拶の七種類に分けた。また「人間関係を維持するには、周囲の人の仕事ぶりを認め、体調を気遣い、労をねぎらい、仲間意識や親しさを示すこと（ポジティブポライトネストラategy）」である。そのような気づかいと親しさのシグナルをさりげなく示すことができるのが『お疲れ系』の言葉である」と述べ、「お疲れ」系の意味の希薄化と拡大が進んだ原因を分析した。

2.2. 先行研究の問題点と本研究の位置づけ

まず、前述の先行研究のデータ収集の方法は、実際の会話観察、アンケート調査、インタビューなどである。観察とインタビューは、調査対象の情况及び言語意識を直接把握できるという利点がある反面、欠点としては、対象者の数が限られている場合には一般化できるかどうかという問題が残る。その点、アンケート調査は多数の被調査者に固定したアンケート用紙を一斉に配布し、回収することによって、大量のデータの収集が可能である。しかし、アンケ

ート調査の欠点は、回答がコンパクトになりがちで、そして言語（文字）だけではデータが限られるために、相手の音声の調子や表情身振りなどのあいさつにおける非言語という重要な要因を観察することができない（曲志強, 2006）。

また、「おつかれ系」の用法と機能のまとめと分類に不十分な点が存在している。登田龍彦（2004）では四種類にとり、倉持益子（2008）では七種類にしたが、実際の使用例から見ると、まだ足りない。塩原淳平（2006）では、別れを告げる機能を持つ「おつかれ系」について述べられたが、その時の「おつかれ系」のもともとの「慰労」の機能を認めていないという点について再検討する必要がある。

以上のような理由から、データの多様性と一般化の可能性の両方に配慮するために、テレビドラマをデータとして収集対象とする会話やコミュニケーションの研究が現在行われている。また熊谷智子（2003）は「テレビドラマでは、場面のバリエーションが豊富だけでなく、やりとりの形になっているので、定型的な感謝や謝罪の決まり文句以外のストラテジーも含めた言語行動の展開例が収集しやすい」と指摘している。本研究はビデオコーパスを利用し、「おつかれ系」を具体的な場面から抽出し、さらに分類、分析し、実証的考察によって、「おつかれ系」の使用実態を明らかにする。

3. 研究方法

本研究では、JV Finder というビデオコーパスを利用して、「おつかれ系」の用例を収集することにした。

JV Finder(<http://findvideo.japanesecorpus.com>) は映画、テレビドラマ、アニメといった映像作品をもとにし、マルチメディアを利用して立体化したビデオコーパスである。今まで中国語・日本語の両言語字幕がついた映像作品が 33 収録されている。語彙・場面によってビデオ検索ができる。検索する際、キーワードが出てくるフレーズを中心にし、前後のフレーズの数あるいは前後の時間数によって、ビデオの長さを決めることができる。クリックして、ビデオの視聴もできれば、ダウンロードも可能である（図 1）。

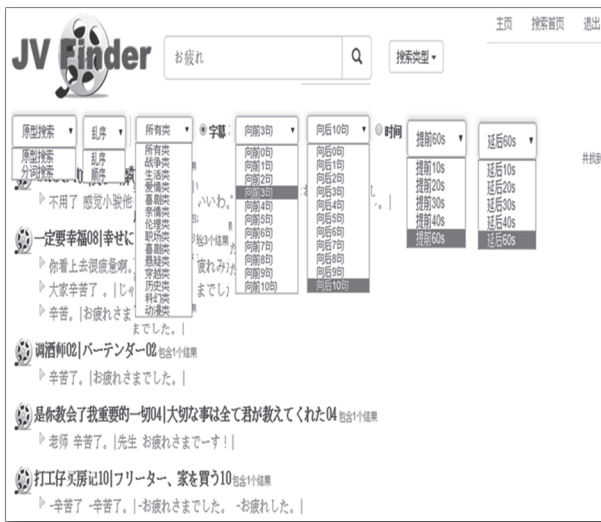


図 1：JV Finder 検索画面

3.1. 検索方法

まず JV Finder に登録してから、「お疲れ」を入力して「検索」をクリックすると、「お疲れさま」、「お疲れさまでした」、「お疲れさん」などを含む断片が出てくる。違った表記の存在が想定されるので、さらに「おつかれ」、「御疲れ」を入力し、検索してみた（図 2）。



図 2：「オツカレサマ」の検索画面

3.2. 断片のダウンロード

検索する際、フレーズの長さを最大値、すなわちキーワードを含める文の前後各 10 行に設定した。得られた文をクリックすると、ビデオの視聴画面になる。字幕に載せられているキーワードの「お疲れ」が赤くなっている。また図-2の中に出てきた「パパ、お疲れみたいだし」のような、本研究の研究対象外のものがあるため、選別しなければならない。こうして、「ビデ

オダウンロード」をクリックすると、絞られたビデオ断片がダウンロードできる。獲得したビデオ断片の中では、もっとも短いのは 20 秒、もっとも長いのは 3 分 54 秒で、大半が 2 分ぐらいである（図 3）。

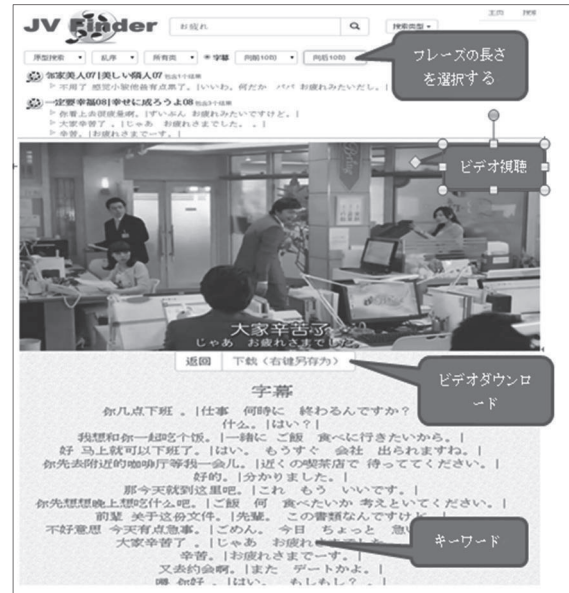


図 3：ビデオの視聴画面

3.3. データの獲得

検索する際に「順序」というボタンを押すと、出てきたビデオはドラマ順になり（図-4）、最初に出てきた 25 部のドラマ（注 1）から、それぞれ最初のビデオ断片を二つずつランダムに選出し、全部でビデオ断片 50、「おつかれ系」のフレーズ 68 例が得られた。



図 4：ドラマ順になる画面

4. データ分析

4.1. 表現形式

文体やテンスによって、同じ意味を持っていたり、違った表現形式もたくさんある。68 例の中では、「オツカレサマデス」が一番多く、24 例であった。「オツカレサマデシタ」はわずかの差で 21 例の二番目であった。その次は「オツカレ」(10 例)、「オツカレサマ」(7 例)、「オツカレサン」(3 例) である。最後に「オツカレニシマショウ」、「オツカレッチャン」、「オツカレッス」はそれぞれ 1 例であった (図 5)。

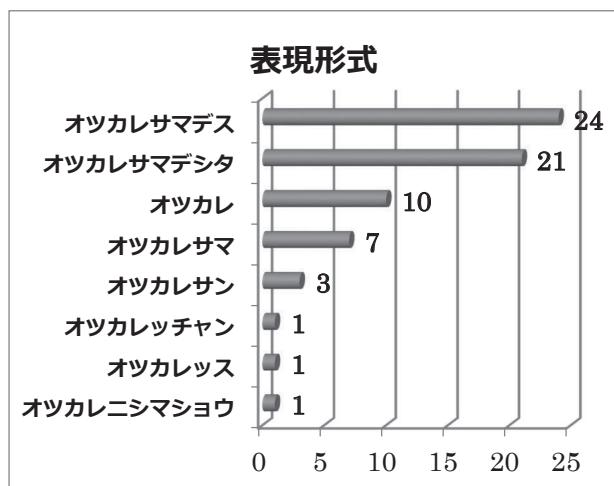


図 5：表現形式

4.2. 性別差

「おつかれ系」の発話者の性別について調べたところ、以下の図-6 の結果が分かった (注 2)。「オツカレサマデス」は男性の使用例が女性の 3 倍であり、性別差が目立つ (4.3.3.でも後述する)。「オツカレサン」、「オツカレッチャン」と「オツカレッス」の使用例が少ないが、女性使用例がなかったため、この三つは男性が主に使用する傾向が見られる。

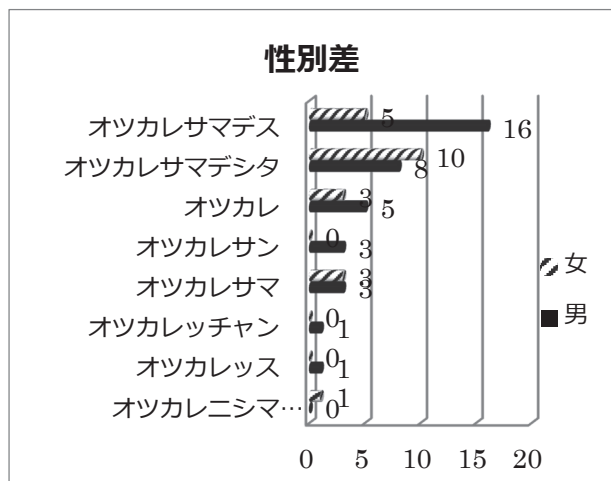


図 6：性別差

4.3. 機能

68 例のデータからみた「おつかれ系」は以下の六つの機能を持っていることが分かった (図-7)。機能 1 (「お別れのあいさつ」)、機能 2 (「単純な慰労」) と機能 3 (「仕事場での出会い」) の三つは前三位であって、使用例の数にはたいした差がない。この三つも先行研究ではよく論じられてきた「おつかれ系」の常用機能であるが、機能 4 (「帰社する宣告と相手の帰社確認」)、機能 5 (「何かを一段落にしたい合図」)、機能 6 (「仕事連絡の電話の冒頭あいさつ」) はまだ一般化しているとは論じられず、当然意味論化もされないため辞書の定義的意味としての扱いを受けていないと思われる。

しかし、六つの機能を持っているものの、疲れたと思われる人を敬い、同情、慰労の気持ちを表すあいさつの言葉という「おつかれ系」のもともとの意味を、どれも含んでおり、機能 2 以外に、二重機能を持っていると考えられる。ただ、具体的な場面によっては、裏に潜んでいるもともとの意味がだんだん希薄化され、表の機能が目立ってくると思われる。以下の分析は主にこの表の機能について述べたいと思う。

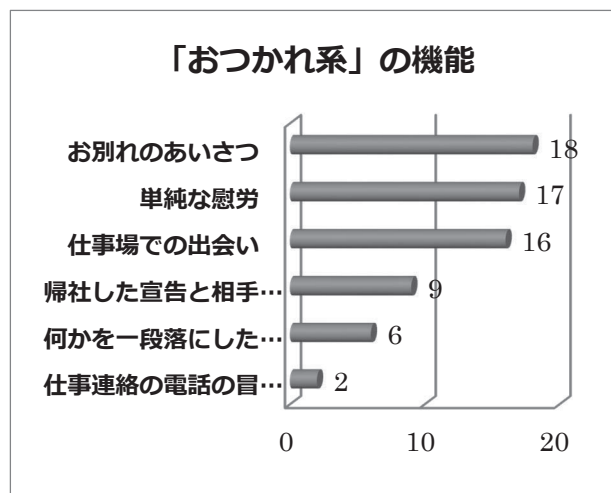


図 7：「おつかれ系」の機能

4.3.1. 「お別れのあいさつ」機能

機能 1 を具体的に分析すると、表 1 のような結果となった。まず表現形式では、「オツカレ」、「オツカレサマ」、「オツカレサマデス」、「オツカレサマデシタ」、「オツカレッス」の 5 種類であった (参考資料 1)。発話した場面は、仕事や稽古やイベントなどが終わって帰ろうとする

時であった。そして、同じお別れのあいさつとして使われていても、実は「失礼します」と「どうぞ帰ってください」のペアになっている2種類に分けられている。つまり①帰宅する話者が、まだ仕事をしている聴者に対して別れ際に発するあいさつ表現と、②話者が帰宅する聴者に対するねぎらいのあいさつ表現である。それから、聴者との人間関係によって、使われた文体も違った。「先輩」や「上司」のような目上の人、「家政婦」や「知り合い」などの親しくない人には全部「オツカレサマデシタ」を使っている。

表1:「お別れのあいさつ」機能を持つデータ分析

場面	機能	相手	数
仕事が終わって帰ろうとするとき	お別れのあいさつ。「失礼します」という意味	同僚（あるいは、複数の同僚）	9
		先輩	1
何かのイベントが終わってお別れするとき	お別れのあいさつ。「失礼します」という意味	知り合い	2
仕事が終わって帰ろうとする同僚に言う		同僚	2
仕事が終わって帰ろうとする家政婦に言う	お別れのあいさつ。「失礼します」という意味	家政婦	1
仕事が終わって帰ろうとする上司に言う		上司	1
書道教室が終わって、先生が学習者に言う	お別れのあいさつ。「失礼します」という意味	学習者	1

何かのイベントから帰ろうとするとき	お別れのあいさつ。「帰るわ」という意味	イベント主催の係員	1
-------------------	---------------------	-----------	---

4.3.2. 「単純な慰労」機能

機能2を具体的に分析すると、表-2のような結果を得た。まず表現形式では、「オツカレ」、「オツカレサマ」、「オツカレサマデシタ」、「オツカレサン」の4種類であった（参考資料2）。そして発話した場面は、「仕事後の飲み会で乾杯する時」が一番多かった。それから、相手としては同僚や部下や隊員のような同等または目下が多くて、目上には返事としての1例しかなかったため、目上への慰労には使われていないことを確認した。

表2:「単純な慰労」の機能を持つデータ分析

場面	機能	相手	数
仕事後の飲み会で乾杯する時	仕事の疲れをねぎらう	同僚	7
		部下たち	1
	仕事の疲れをねぎらう（上司への返事）	上司	1
看護師は検査を済んだ患者を病室に送った時	検査の疲れをねぎらう	患者	1
任務を果たして、賞金を配る時	仕事の疲れをねぎらう	同僚	1
仕事後の飲み会で、店員がビールを運んできた時		客	1
飲食店で監督と隊員が乾杯する時	お稽古の疲れをねぎらう	隊員	1

時給を支給する時	仕事の疲れをねぎらう	部下	2
昨日仕事を手伝ってくれたことに感謝する時	手伝ってくれた疲れをねぎらう	同僚	1
会社を辞めた人を見送りする時	今までのお勤めの疲れをねぎらう	同僚	1

4.3.3. 「仕事場での出会い」機能

続いて機能3の分析結果は、表-3 となった。まず表現形式では、「オツカレサマデス」(14例)、「オツカレサマデシタ」(1例)、「オツカレ」(1例)の3種類であった(参考資料3)。「オツカレサマデス」の使用例が圧倒的に多い。

前述の3.2(性別差)では「オツカレサマデス」の男性使用例は女性の3倍であったと述べた。これは、今回の「男性が会社で働く」場面のデータが多かったことに関係があるが、「オツカレサマデス」は仕事の途中で、同僚や上司に対する出会いのあいさつとしてもっとも使われている表現だと言っても過言ではない。

登田龍彦(2004)は、「話者が通学・出勤してきた聴者に対する(最初にかけの)あいさつ表現として使用する」という「仕事場での出会い」の例を挙げた。今回の資料にも例があった。例えば、出勤してきた人は同僚に「おはようございます」と言い、相手は「オツカレサマデス」と返事をした。これは「オツカレ系」の新用法であり、その理由として「発話時において仕事による疲れを厭わず出勤してきたことに敬意を表すと同時にそれ以降の聴者の勤勉・努力による疲れを話者が先取りした用法である」と登田龍彦(2004)が説明している。また、聴者が仕事場まで電車や自転車など交通機関を利用したり、歩いて来たりすること自体は疲れていた状態になっているため、ここでは「オハヨウゴザイマス」のような単なる出会いのあいさつを避けて、慰労の意味も含む「オツカレサマデス」を使って、出会いのあいさつとして代用した理由だと思われる。

表3:「仕事場での出会い」の機能を持つデータ分析

場面	機能	相手	数
会社の廊下で同僚とすれ違う時	仕事場での出会い、「こんにちは」、「どうも」と類似する意味	同僚	9
会社の廊下で上司とすれ違う時	仕事場での出会い、「こんにちは」、「どうも」と類似する意味	上司	1
わざわざ車で買いに来た客に会った時	「こんにちは」、「どうも」と類似する意味	客	1
仕事に来る同僚に会った時	仕事場での出会い、「こんにちは」、「どうも」と類似する意味	同僚	3
出勤して、自分より早く仕事についている同僚に会った時		同僚	2

4.3.4. 「帰社宣告と相手の帰社確認」機能

機能4の分析からは、表-4のような結果を得た。まず表現形式では、「オツカレ」、「オツカレサマデス」、「オツカレサマデシタ」の3種類であった(参考資料4)。ペアとして「帰社宣告」と「相手の帰社確認」の2機能を持っている。換言すれば「ただいま」、「お帰りなさい」という意味である。外回りから会社に戻ってきた人は、会社に残る同僚が働いて疲れている状態になるのを想定し、相手に対する気配りの意味が表されていて、丁寧表現の一種である。同時に、会社に残って仕事をする人は、外回りから戻ってきた同僚が働いて疲れている状態になるのも想定し、疲れをねぎらいながら、相手の帰社確認をするわけである。だから、「ただいま」と「お帰りなさい」より、相手の立場に立って、

相手の気持ちを配慮する意味も持つ「おつかれ系」の表現が頻繁に使われてくるわけである。

表 4:「帰社宣告と相手の帰社確認」の機能を持つデータ分析

場面	機能	相手	数
外回りから会社に戻ってきた時	帰社した宣告。「ただいま」という意味	会社にいる同僚	4
外回りから会社に戻ってきた同僚を見かけた時	相手の帰社確認。「お帰りなさい」という意味	外回りから会社に戻ってきた同僚	3
外から戻ってきた教授を見かけた時	「お帰りなさい」という意味	外から戻ってきた目上の人	1
外回りから会社に戻ってきた上司僚を見かけた時	相手の帰社確認。「お帰りなさい」という意味	外回りから会社に戻ってきた上司	1

4.3.5. 「何かを一段落にしたい合図」機能

機能 5 を具体的に分析すると、表-5 のような結果が出た。まず表現形式では、「オツカレサマデシタ」、「オツカレツチャン」、「オツカレニシマショウ」の 3 種類であった（参考資料 5）。「オツカレツチャン」と「オツカレニシマショウ」は滅多に見えない例（1 例ずつ）であったが、残った 4 例は全部「オツカレサマデシタ」である。

「オツカレサマデス」とは、現在形と過去形の区別だけではなく、「オツカレサマデス」は相手が疲れている状態に対するねぎらいであり、「オツカレサマデシタ」は、相手が仕事や何らかのこのために、苦勞して努力した行為を一つの具体的なまとまりとしてとらえ、その完結を認識した場合に用いる慰勞の言葉である。ここでは、「オツカレサマデシタ」を使うのは、会話の区切り、場面の区切りを示す印、あるいは合図なのである。「オツカレサマデシタ」を述べることで、場面を終わりにする、あるいは終わりにしたいという話者の意向を表すことにな

る。例えば、データにはこういう例があった。報告に来てなかなか言い終わらない部下を止めたい時、上司が「では……オツカレツチャン」と言えば、部下はそれ以上報告を続けられない気配を感じる。

表 5:「何かを一段落にしたい合図」の機能を持つデータ分析

場面	機能	相手	数
夜自分にしつこく絡まってくる男を退去させたい時	何かを一段落にしたい合図。「今日はここにしましょう」という意味	知り合い	1
報告に来てなかなか言い終わらない部下を止めたい時		部下	1
主催者がイベントを終わろうとする時		参加した人たち	2
部下との相談を終わろうとする時		部下	1
今日の仕事を終わろうとする時		部下	1

4.3.6. 「仕事連絡の電話の冒頭あいさつ」機能

機能 6 を分析して、表-6 のような結果を得た。2 例は全部「オツカレサマデス」であった（参考資料 6）。仕事の連絡のため、相手が働いて疲れている状態になるのを想定した上で発したあいさつである。「オツカレサマデス」の言葉を通して、話し手は相手の疲れていることを了解していることを伝える。これによって、相手が一緒に頑張っている仕事仲間を確認したり、職場の一体感を醸し出したりすることができる。仕事上の用件を伝える前に発した「オツカレサマデス」によって、相手との心理的距離を縮め、本来の用件の遂行をスムーズにすることに役に立つ。これは職場コミュニケーションのストラテジーと言えるだろう。

表 6:「仕事連絡の電話の冒頭あいさつ」の機能を持つデータ分析

場面	機能	相手	数
電話で相手が名乗りをした後	仕事連絡の電話の冒頭あいさつ。「どうも」や「こんにちは」という意味	取引先の人	2

5. まとめ

本研究は JV Finder というビデオコーパスを利用して、「おつかれ系」のフレーズ 68 を収集し、表現形式、性別差と機能に基づいて分析した結果を以下のようにまとめる。

- (1) 今回のデータから、使用例が多い順に「オツカレサマデス」、「オツカレサマデシタ」、「オツカレ」、「オツカレサマ」、「オツカレサン」、「オツカレニシマショウ」、「オツカレッチャン」、「オツカレッス」という 8 種類の表現形式があった。
- (2) 「オツカレサマデス」の男性使用例が女性の 3 倍であり、このフレーズの性別差が大きかったが、ほかのフレーズはたいした性別差が見えなかった。
- (3) 「おつかれ系」の機能として、使用例が多い順に、「別れのあいさつ」、「単純な慰労」、「仕事場での出会い」、「帰社宣告と相手の帰社確認」、「何かを一段落にしたい合図」、「仕事連絡の電話での冒頭あいさつ」の 6 種類があったことが分かった。「単純な慰労」機能を除いて、他の五つは全て「疲れたと思われる人を敬い、同情、慰労の気持ち含んでおり、二重機能を持っている」と考えられる。

また、「おつかれ系」は一種の「連帯感の表明」、「仲間意識」として同じ労苦を共有したという感情の下に使われ、複数の機能を持ち、場合や相手によって使い方が違うが、いずれにしても、よく相手の立場に立って、相手の気持ちを察して心配りをするという日本人の意識が表れていると言えよう。

最後に、今回は 50 の関連ビデオから「おつかれ系」のフレーズ 68 を選出、分析したが、データをさらに充実させ、場面、性別などによって違う機能を把握することを今後の課題としたい。さらに、ビデオを教材とする際の学習項目としての「おつかれ系」表現を確認し、今後の教育活動に活用していく可能性も考えていきたい。

注：

注1.

- (1) 『悪党〜重犯罪捜査班』 2011 テレビ朝日
- (2) 『バーテンダー』 2011 テレビ朝日
- (3) 『BOSS 2nd シーズン』 2011 フジテレビ
- (4) 『ドン・キホーテ』 2011 日本テレビ系列
- (5) 『フリーター、家を買う』 2010 フジテレビ
- (6) 『冬のサクラ』 2011 TBS テレビ
- (7) 『グッドライフ〜ありがとう、パパ。さよなら〜』 2011 関西テレビ
- (8) 『ギルティ 悪魔と契約した女』 2010 フジテレビ
- (9) 『ハケンの品格』 2007 日本テレビ
- (10) 『CONTROL〜犯罪心理捜査〜』 2011 フジテレビ
- (11) 『華和家の四姉妹』 2011 TBS テレビ
- (12) 『陽はまた昇る』 2011 テレビ朝日
- (13) 『秘密』 2010 テレビ朝日
- (14) 『HUNTER〜その女たち、賞金稼ぎ〜』 2011 フジテレビ系
- (15) 『犬を飼うということ〜スカイと我が家の 180 日〜』 2011 テレビ朝日
- (16) 『家政婦のミタ』 2011 日本テレビ
- (17) 『流れ星』 2010 フジテレビ
- (18) 『南極大陸』 2011 TBS
- (19) 『謎解きはディナーのあとで』 2011 フジテレビ
- (20) 『Q10』 2010 日本テレビ
- (21) 『幸せになろうよ』 2011 フジテレビ
- (22) 『それでも、生きてゆく』 2011 フジテレビ
- (23) 『大切なことはすべて君が教えてくれた』 2011 フジテレビ
- (24) 『私が恋愛できない理由』 2011 年 フジテレビ
- (25) 『四つ葉神社ウラ稼業 失恋保険〜告らせ屋』

注2. 68 例の中の 9 例は、パーティーでの乾杯の場面で複数の男女が一斉に発話する場合、発話者の性別が分かりにくいいため、統計外にした。

参考文献

- 倉持益子 (2008.2) 「お疲れさま」系あいさつの意味の希薄化と拡大『明海日本語』13, pp.65-74
- 塩原淳平 (2006) 「大学のサークルにおけるスラングの浸透とそれにかかわる待遇性 - 別れの場面で使われる『おつかれさま』を例に - 」「『言語文化学研究 言語情報編』1, pp.75-100
- 登田龍彦 (2004) 「挨拶表現『お疲れ(さま)について』: 誤用における相互主観化」『熊本大学教育学部紀要人文科学』53, pp.1-7
- 曲志強 (2006) 「日中日常あいさつ表現考察 - テレビドラマの対照比較から」. 『比較社会文化研究』第 19 号. pp 29-36
- 熊谷智子 (2003) 「シナリオのある会話 - ドラマの日本語の特徴 - 」。『日本語学』第 22 巻. 明治書院. pp 6-14
- 『大辞林』(第三版 2006) 三省堂

参考資料 1 : 「お別れのあいさつ」機能を持つデータ

フレーズ	場面	機能	相手
オツカレサマデス	仕事が終わって帰ろうとするとき	お別れのあいさつ。「失礼します」という意味	同僚（複数）
オツカレサマデシタ			先輩
オツカレサマデシタ			
オツカレサマ			同僚（複数）
オツカレ			
オツカレッス			
オツカレサマデス			
オツカレサマデシタ	仕事が終わって帰ろうとする同僚に言う	お別れのあいさつ。「どうぞ帰ってください」という意味	同僚
オツカレサマデス	仕事が終わって帰ろうとするとき	お別れのあいさつ。「失礼します」という意味	
オツカレサマデシタ	仕事が終わって帰ろうとする同僚に言う	お別れのあいさつ。「どうぞ帰ってください」という意味	
	仕事が終わって帰ろうとする上司に言う	お別れのあいさつ。「どうぞお帰りください」という意味	
オツカレサマ	仕事が終わって帰ろうとするとき	お別れのあいさつ。「失礼します」という意味	同僚
オツカレサマデシタ	仕事が終わって帰ろうとする家政婦に言う	お別れのあいさつ。「どうぞ帰ってください」という意味	家政婦
	何かのイベントが終わってお別れするとき	お別れのあいさつ。「失礼します」という意味	知り合い
		お別れのあいさつ。「失礼します」という意味	
オツカレ	何かのイベンから帰ろうとするとき	お別れのあいさつ。「帰るわ」という意味	イベント主催の係員
オツカレサマデシタ	書道教室が終わって、先生が学生に言う	お別れのあいさつ。「どうぞお帰りください」という意味	学生
	仕事が終わって帰ろうとするとき	お別れのあいさつ。「失礼します」という意味	同僚

参考資料 2 : 「単純な慰労」機能を持つデータ

フレーズ	場面	機能	相手	
オツカレ	仕事後の飲み会で乾杯する時	仕事の疲れをねぎらう	同僚	
オツカレサン			部下たち	
オツカレサマ		仕事の疲れをねぎらう (上司への返事)	上司	
オツカレサマデシタ			仕事の疲れをねぎらう	同僚
オツカレサマ		仕事の疲れをねぎらう		同僚
オツカレサマ				
オツカレサマデシタ	看護師は検査を済んだ患者を病室に送った時	検査の疲れをねぎらう	患者	
オツカレサマデシタ	任務を果たして、賞金を配る時	仕事の疲れをねぎらう	同僚	
オツカレ	仕事後の飲み会で乾杯する時			客
オツカレ	仕事後の飲み会で、店員がビールを運んできた時			
オツカレ	飲食店で監督と隊員が乾杯する時	お稽古の疲れをねぎらう	隊員	
オツカレ	時給を支給する時	仕事の疲れをねぎらう	部下	
オツカレ			仕事後の飲み会で乾杯する時	同僚
オツカレ				
オツカレサマ				
オツカレサマデシタ	昨日仕事を手伝ってくれたことに感謝する時	手伝ってくれた疲れをねぎらう	同僚	
オツカレサマ	会社を辞めた人を見送りする時	今までのお勤めの疲れをねぎらう	同僚	

参考資料 3 : 「仕事場での出会い」 機能を持つデータ

フレーズ	場面	機能	相手
オツカレサマデス	会社の廊下で同僚とすれ違う時	仕事場での出会い、「こんにちは」、「どうも」と類似する意味	同僚
オツカレサマデス			
オツカレサマデス	会社の廊下で上司とすれ違う時		上司
オツカレサマデス	会社の廊下で同僚とすれ違う時		同僚
オツカレサマデス			
オツカレサマデス			
オツカレサマデス			
オツカレサマデス			
オツカレサマデス			
オツカレサマデシタ			
オツカレサマデス	わざわざ車で買いに来た客に会った時	「こんにちは」、「どうも」と類似する意味	客
オツカレサマデス	仕事に来る同僚に会った時	仕事場での出会い、「こんにちは」、「どうも」と類似する意味	同僚
オツカレ	出勤して、自分より早く仕事についている同僚にあった時		
オツカレサマデス	仕事に来る同僚に会った時		
オツカレサマデス	出勤して、自分より早く仕事についている同僚にあった時		
オツカレサマデス	仕事に来る同僚に会った時		

参考資料 4 : 「帰社した宣告と相手の帰社確認」機能を持つデータ

フレーズ	場面	機能	相手
オツカレサマデス	外回りから会社に戻ってきた時	帰社宣告。「ただいま」という意味	会社にいる同僚
オツカレサマデス			
オツカレサマデス	外回りから会社に戻ってきた同僚を見かけた時	相手の帰社確認。「お帰りなさい」という意味	外回りから会社に戻ってきた同僚
オツカレ	外回りから会社に戻ってきた時	帰社宣告。「ただいま」という意味	会社にいる同僚
オツカレサマデス			
オツカレ	外回りから会社に戻ってきた同僚を見かけた時	相手の帰社確認。「お帰りなさい」という意味	外回りから会社に戻ってきた同僚
オツカレサマデシタ			
オツカレサマデシタ	外から戻ってきた教授を見かけた時	「お帰りなさい」という意味	外から戻ってきた目上の人
オツカレサマデス	外回りから会社に戻ってきた上司僚を見かけた時	相手の帰社確認。「お帰りなさい」という意味	外回りから会社に戻ってきた上司

参考資料 5 : 「何かを一段落にしたい合図」機能を持つデータ

フレーズ	場面	機能	相手
オツカレサマデシタ	夜自分にしつこく絡まってくる男を退去させたい時	何かを一段落にしたい合図。「今日はここにしましょう」という意味	知り合い
オツカレツチャン	報告に来てなかなか言い終わらない部下を止めたい時		部下
オツカレサマデシタ	主催者がイベントを終ろうとする時		参加してた人たち
オツカレサマデシタ			
オツカレサマデシタ	部下との相談を終ろうとする時		部下
オツカレニシマショウ	今日の仕事を終ろうとする時		部下

参考資料 6 : 「仕事連絡の電話の冒頭あいさつ」機能を持つデータ

フレーズ	場面	機能	相手
オツカレサマデス	電話で相手が名乗りをした後	仕事連絡の電話の冒頭あいさつ。「どうも」や「こんにちは」という意味	取引先の人
オツカレサマデス			